

令和4年度第1回出雲市地域公共交通活性化協議会議事録

と き 令和4年4月28日（木）
10：00～10：50
ところ 出雲市役所 市民応接室
出席者 15名

1. 開会

2. あいさつ

【会 長】 本日は、お忙しい中お集まりいただき感謝申しあげる。また、皆さまには本市の交通施策に様々な形でご協力をいただいていることに対し改めて感謝申し上げます。

コロナ感染症については一向に収束の兆しが見えない状況となっている。交通事業者の皆様におかれても大変厳しい状況が続いていると理解している。

市としても、引き続き感染予防対策に努めるとともに、ワクチンの3回目の接種の推進にもしっかりと取り組んでまいりたい。いずれにしても一刻も早く元の状態に戻ることを願っている。

さて、公共交通計画の策定については、昨年度は本市における公共交通の現状、課題の把握を中心に調査を行った。

バス交通の利用促進、交通空白地の解消、障がい者等の利用困難者への対応、地域の状況に応じた公共交通の構築、そして交通事業者からは、恒常化する運転手不足など様々な課題が浮かびあがった。

今年度は、いよいよ計画の成案をまとめることとなる。この計画は地域住民の生活維持の観点から、多くの市民の皆様から様々な期待の声があがっている。

課題を一つひとつ分析し、将来の出雲市にとって持続可能で、市民が利用しやすい公共交通を目指し、委員の皆様とともに計画の策定に取り組んでまいりたい。

本日の議事は資料にある通り昨年度の事業報告、決算報告、本年度の事業計画（案）、予算（案）についてご審議いただきたい。

本年度に入って最初の会議であり、新委員の方々もいらっしゃる。後ほど紹介させていただくが委員の皆様にはどうぞ忌憚のないご意見をいただくようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

3. 委員紹介

【事務局】 委員変更もあり、今年度初回の会でもあるため、自己紹介を簡単をお願いする。

～出席委員及び代理出席者自己紹介～

～事務局の自己紹介～

4. 報告

【事務局】 議事に入る前に3月の協議会での質問について回答する。

～資料『令和3年度第3回協議会でいただいた意見への対応』について説明～

5. 議事

【事務局】 それでは、議事に移る。議長は会長が務めることになっている。

- 【会 長】 それでは次第に従い、議事を進行して参る。
第1号議案 令和3年度事業報告、第2号議案 令和3年度決算報告について、事務局から一括して説明をお願いします。
- 【事務局】 ～第1号議案、第2号議案について説明～
- 【会 長】 それではここで監事から会計監査報告をしていただく。
- 【監 事】 先般、監査を実施した。証拠書類、帳簿が適正に処理されていたことを報告する。
- 【会 長】 第1号議案、第2号議案について質問をお受けする。
～質疑なし～
- 【会 長】 第1号議案、第2号議案について承認される方は拍手をお願いします。
～承認の拍手～
- 【会 長】 全会一致で承認された。
続いて、第3号議案 令和4年度事業計画(案)、第4号議案 令和4年度予算(案)について事務局から一括して説明をお願いします。
- 【事務局】 ～第3号議案、第4号議案について説明～
- 【会 長】 第3号議案、第4号議案について質問をお受けする。
～質疑なし～
- 【会 長】 第3号議案、第4号議案について承認される方は拍手をお願いします。
～承認の拍手～
- 【会 長】 全会一致で承認された。
第5号議案について、事務局から説明をお願いします。
- 【事務局】 ～第5号議案について説明～
ここで、事業者のバイタルリード株式会社のプレゼンの時間をいただき、その後判断をいただきたい。
- 【バイタルリード】
～『令和4年度出雲市地域公共交通計画策定支援業務 業務計画』により説明～
公共交通に関しては、制度、技術革新、情報技術を駆使したmass、グリーンスローモビリティなどあるが、5年先にはどんどん変わってくる。それを見据えたうえで、今回地元で受けることができれば地方都市のモデルとなるような計画を作っていきたい。よろしくをお願いします。
- 【会 長】 第5号議案 計画の策定支援業務について事務局はバイタルリードを推薦するということだが、これについて質問をお受けする。
～質疑なし～
- 【会 長】 第5号議案について承認される方は拍手をお願いします。
～承認の拍手～
- 【会 長】 全会一致で承認された。支援業務についてはバイタルリードへお願いします。
予定の議事は全て終了した。全体を通じて質問があればお受けする。
この後の事務局からの説明の中で質問されても良い。
～質疑なし～
- 【会 長】 皆様にご協力いただき感謝する。これで事務局へお返しする。
- 【事務局】 ここで、前年度の調査結果から分かった問題点・課題・交通計画策定に向けての考え方についてバイタルリードから説明をしてもらう。

【バイタルリード】

～調査結果の報告及び今後の計画策定に向けての考え方について説明～

説明した内容に対し、ご意見をいただければと思う。

【事務局】 現時点での交通計画案を参考として説明いただいた。本日ご覧いただき、ご意見をいただくことは難しいと思っている。概念的・スローガンのものが含まれており、現在策定中の総合振興計画とリンクしたものということでもある。これに加えたいものがあれば、次回7月開催予定の協議会もあるので、資料をお読みいただき、それぞれの地域ごとの課題などあればご提案いただきたい。肝心の基本理念が空白となっている。まず基本理念を掲げることが必要だと認識している。本日のところで意見があればいただきたいが如何か。

～意見なし～

【事務局】 本日の議題は以上である。

事務連絡をする。

次回の協議会は7月を予定している。日程が決まり次第、案内する。

7. 閉会

【副会長】 本市は17万の人口がキープされているが、山陰中央新報によると島根県の人口は64万であり昭和30年代中頃は93万人もいたとのこと。まさに隔世の間である。出雲市もこれが何時影響してくるかというところではないか。

また高齢化も進んでおり、公共交通の利便性の向上は必要不可欠なことではないかと思う。他方、費用対効果という目線もあろうかと思う。

そうした中でいよいよ今年9月から10月には素案や計画が策定されるという段階となる。どのような案にまとまるか大変興味深く、市民の方々も同じ思いであろうと感じている。しっかりとした計画となるようよろしくお願いします。